



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE

第 16 号

発行日：平成 29 年 4 月 30 日

発行：特定非営利活動法人

M・I・T・O 21

〒310-0851 水戸市千波 508-34

発行責任者：黒澤輝子

第 9 回通常総会を迎えるにあたって

理事長 黒澤 輝子



今年の桜はここ水戸では気温が低かったせいでしょうか、いつもの年より長めに楽しむことができました。そして今、新緑の美しい季節を迎えております。

顧みますと 2001 年 9 月に水戸で「第 18 回日本女性会議 2001 みた」が開催され、そこで出されたみた宣言をもとに男女平等参画社会の構築を実効性あるものにするという理念を掲げて、一年後に「ポスト日本女性会議 2001 みた」の会が誕生しました。

その後 2008 年 5 月に特定非営利活動法人として、男女平等参画社会の形成の促進を図る活動を中心に申請することを決議し、12 月に認証を受けて「M・I・T・O 21」は社会的責任を持つ団体としてスタートしたのです。翌年 5 月に設立記念講演会として池上彰氏を講師に「そうだったのか！講演会」を開催したのが思い出されます。

早いもので来年は 10 年を迎えますが、これまでの活動は確かな実績として残り、私たち一人ひとりの力の結集は地道ながら着実な歩みを進めており、自信に繋がっているのではないのでしょうか。

本会の事業の一つに水戸市男女平等参画課の委託事業「ヒューマンライフシンポジウム」があります。毎年 9 月の男女平等参画推進月間事業の中の大きな事業で、各分野で活躍されている著名な方々をお招きして講演会を企画運営してまいりました。

昨年度、水戸市では 10 月に第 1 回水戸黄門漫遊マラソンや 2 月にエンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 水戸があり、全国への発信力を高め、注目を集める“街”になってきています。私たちは、次世代の若者が夢の持てる魅力ある街—水戸—の実現に力を尽くしていきたいと思うところです。

この一年間のご協力に感謝申し上げます、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

= 目 次 =

第 9 回通常総会を迎えるにあたって

ごあいさつ……1 頁

大好きいばらき県民会議地方創生応援事業から

① 県北芸術祭鑑賞とブルーベリー

フレンドファーム見学……2 頁

② 時短料理で健康生活=料理教室

③ 一ココロの準備セミナーから……3 頁

関連事業報告/編集後記 ……4 頁

大好きいばらき県民会議地方創生応援事業の助成を受け実施しました。

①茨城県北芸術祭&ブルーベリーフレンドファーム見学

平成 28 年 10 月 21 日(金)

2016 年 9 月 17 日～11 月 20 日秋、茨城県北地域の美しい太平洋の海原と、緑豊かな里山の自然に恵まれた風光明媚な地域で「茨城県北芸術祭」が開催されました。茨城県と県北 6 市町が総力あげて地域を盛り上げ、秋の行楽シーズンに県内はもとより全国から訪れる方々に紅葉の風景とおもてなしの心を存分に味わっていただけるようそこに住むたくさんの方がボランティアとして関わっておりました。



ブルーベリー畑を望むカフェテラスで

セカンドライフと地域振興のお話を伺いながら、ブルーベリースソースのたっぷりかかった冷製パスタやタルト、ブルーベリーの葉茶をいただきました。また近くに出来た道の駅「かわづらざ」での地産地消の取組みは、地域の人々が来てくれたお客様に喜んでいただけるよう、商品作りを研究しており、地域が一丸となって取り組み、芸術祭開催と同時期であったことが、地域を輝かせていたのです。

私たちは県北地域の山側の芸術作品鑑賞と山方宿でブルーベリー栽培とカフェ経営、小口弘之、令子さんご夫婦を訪ねました。昨年まで水戸駅北口の京成ホテルの総支配人であった小口氏は、定年前よりブルーベリーを栽培し、常陸大宮を誇りの持てる故郷と思える若者を育成したいと高校生の職業体験の場として農業の指導をしたり、カフェで使うテーブルやいすの制作を工業科の生徒がしたり、商業の実践で株式会社設立に助言や指導をされておりました。



紅葉したブルーベリー畑を見学



フロア一面の白砂と彩られた枝葉の数々

豊かな自然と人々の生活に新たな創造の息吹を吹き込むことがねらいとか、行楽の秋にふさわしい紅葉の見ごろの中、小型バスで地域創生応援事業の助成を受け、自然の中に身を置き芸術作品に触れ、茨城の地域の誇れる場所と時間を共有しました。参加者:10名

石沢地区の作品と家和楽青少年の家の作品は地域の人々が作品の制作を作家に協力して、作り上げたものあり、ボランティアの方々が毎日交代で見学者に説明をされる、地域の人々とのコラボレーション、県独自のアーティスト滞在プログラム“ARCUS”との協働、県内諸大学との連携など、地域に根ざした創造活動を実践、アートと科学・技術の実験を通して茨城県北地域の豊かな



水の中に浮かぶ灯籠

② 「ベジ・シェフ」を使った時短料理教室参加して

平成 29 年 1 月 25 日

日本人の平均寿命の伸びは目覚ましく、スーパー高齢者の活躍など気力・体力充実のシニアが話題になったり、定年後の時間が 30 年に及ぶ現実に描いていた人生設計を微調整しながらも健康年齢を押し上げています。

昨年秋のバス研修で訪れた「ブルーベリーフレンドファーム」の経営者で、テレビ番組「人生の楽園」を地で行く小口弘之氏が今回の講師です。

小口氏は 50 歳代から 1.2ha の農地にブルーベリーを育て始め退職後は畑の脇にカフェを開いて、地元の高校生とコラボした会社を興すなど地域活性化に精力的なご様子でした。一方で健康や食生活への思いから「ベジ・シェフ」を紹介しておられます。これはとかく

温め専用になりがちな電子レンジ活用の、圧力なべと無水鍋の機能を併せ持つポリプロピレン製の調理容器です。茨城県栄養士会編纂の「ベジ・シェフレシピ」から調理例の提示と試食がありました。食材に圧力をかけ、素材そのものの水分によるスチーム効果でビタミンを壊さない短時間調理です。



講師の説明を熱心に聞く受講者



—めざせ スーパー高齢者!!!—

食事の支度が手軽にできるのでいろいろな生活スタイルの人にこの調理容器は重宝しそうです。「素材の美味しさを活かし、塩分・油分などを抑えた野菜の多い食生活で健康維持へつなげて欲しい」が私たちへのメッセージでした。

最近は電気店へ行っても栄養を逃がさず時短での家電クッキング鍋などが並んでいますが、「ベジ・シェフ」もその流れにあるのではと思われます。火を使わない調理は防災の観点からも良いかもわかりません。今夜は受講者の台所で「ベジ・シェフ」が活躍していることでしょう。 田山 和子記

③ 「ココロの準備」実行委員会として開催

日 時：平成 29 年 3 月 14 日(火)

場 所：茨城キリスト教大学

これから就職活動を開始する学生(若者)を対象に、地元で働く様々な職種のセンパイから、仕事を決めたポイント、働く原動力、就活のエピソードなどを、シェア～、



田山知賀子理事主催者あいさつ

何のために働くの？ お金？ 生活？ やりがい？ 人生？
あなたはどんなジブンになりたい・センパイや仲間と話しながら、想像してみよう…… 内定後のジブン？

ミチしるべの若いメンバーが中心となり企画運営、本法人は若者支援の立場でバックアップしました。



茨城キリスト教大学キャンパスにて

エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 水戸

平成 29 年 2 月 17 日(金)～19 日(日)

梅まつりでにぎわい始める水戸に超豪華な 150 名を超える講師陣が集まり、エンジン 01「みつける未来。みとれる水戸、みつめる歴史」に燃えました。文化センターを満席にしてオープニングシンポジウム「みつめる歴史・明治維新は水戸から始まった」、「みとれるコンサート」から始まり、2 日目の茨城大学での 100 を超える講座など、水戸市民の知的欲求を充分満たしてくれました。参加したい講座は重なって身体がもう一つあればと残念な思いも…。講座によってはゲストが豪華すぎて消化不良の感もあったらしいですが、私が参加した一つ「激論！女たちが語る幕末」は来年の大河ドラマにも触れ、本音のトークが面白く久しぶりに肩がこらない講座でした。また、講師との距離がより身近に飲みながら語る夜楽も好評でした。(兼子千恵子記)



こみっとフェスティバル平成 29 年 2 月 25 日

毎年 2 月の第 3 土曜日にイオン水戸内原店のイオンホールとメインコートで市民活動団体の活動発表と団体間のネットワーク作りの場として行われています。

今年はわいわい五軒文化祭で参加団体を募りましたので、みと男女平等参画を考える会も参加し、水戸市の男女平等参画条例の認知度を参加者にアンケートしました。

条例によって子育て支援、DV、LGBTなど市民が問題と思うものに気づく意見も聞かれ、本法人の存在をアピールしました。

パネルはじっくりと見ていただける方は少ないのですが、参加したことで、多くの市民と交流ができました。(事務局記)



イオンホールでの活動発表

編集後記：東日本大震災から 6 年経過、その後も全国各地で自然災害が発生しました。県内でも鬼怒川の台風災害で常総市やその周辺地域が大きな被害を受けました。身近な NPO 法人 commons は JUNTOS[たすけあいセンター]を立ち上げその支援は目覚ましいものです。茨城県は魅力度最下位などと言われていますが、茨城は食べ物は豊富だし、海あり、山あり、人情は厚く助け合いの精神があって素晴らしいところだと思います。今年は鹿島アントラーズに始まり、稀勢の里関、水戸ホーリーホック、茨城ロボッツの躍進で水戸のまちなかにはバスケットコートができるとか、茨城ゆめ国体、ゆめ大会、オリンピック、パラリンピックとスポーツ界では若い世代へ期待が膨らみます。昨年からはじめた水戸黄門漫遊マラソンは参加希望者が増えて全国からランナーが集まるようです。水戸市が全国に名を高められるよう市民一人ひとり、おもてなしの心を持って接していきたいものです。事務局